

報告事項 チ

「西館池田家の大名行列図巻」の初公開について

「西館池田家の大名行列図巻」の初公開について、別紙のとおり報告します。

平成20年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

「西館池田家の大名行列図巻」の初公開について

県立博物館が新たに収集した西館（にしやかた）池田家（鳥取池田家の分家）の大名行列を描いた「図巻」を初公開します。

1 概要

この度、県立博物館では、大名行列を描いた「図巻」の寄贈を受けた。

調査の結果、この「図巻」は、今から143年前の、1865年（慶応元）4月17日に行われた因州東照宮（現在の樗谿神社）の祭礼で、鳥取城下を進んでいる西館（にしやかた）池田家の一行を描いた可能性が高いことが分かってきた。

鳥取池田家の分家に相当する西館池田家の行列を描いた本図は、ほかに同様の資料が確認されておらず、現在のところ唯一の資料である。また西館池田家に関する資料は散逸しており、資料的価値は高いといえる。

これまで人目にふれることがなかった西館池田家の大名行列図巻を、初めて公開する。

2 展示テーマ 「初公開！西館池田家（鳥取新田藩）の大名行列図巻」

3 展示資料 西館池田家東照宮祭礼大名行列図巻 1巻

《主な特徴》

- ・智頭町在住の所蔵者から平成20年2月に寄贈を受けた資料。
- ・全長は14.5m余り、総勢260人の人物が描かれる。
- ・人物を大きく描き、一人ひとりの表情まで、はっきりとわかる。
- ・不明だった西館池田家の行列構成、人員、使用された道具などがわかる。
- ・馬に乗る西館十代藩主池田徳定（のりさだ）の姿が描かれている。【写真参照】

《参 考》西館池田家

- ・初代藩主池田光仲の五男清定（きよさだ）を祖とする。2家ある鳥取池田家の分家の1つ。
- ・「西館」の呼称は、先に分家した兄の屋敷（東館）の西側に位置したことによる。
（西館の屋敷は、現在の県庁一帯にあたる）
- ・石高は最初15,000石、後に20,000石。

4 展示期間

平成20年3月8日（土）～5月11日（日）

5 展示場所

鳥取県立博物館1階

歴史民俗常設展示室「歴史の窓」コーナー

【写真】行列の本隊部分。馬上の人物が藩主(赤粹)。家臣たちが周りを護衛している。



【拡大図】

